

全国各地で秋の演武盛ん



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)
FAX03 (3204) 8145

購読料

1カ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

立ち向かふ
剣の林を
導くに
小楯は敵の
心とぞ知れ

関西学連

第五〇回関西学生合気道演武大会は十月十八日、京都市旧武徳殿において開催され、加盟校二十五のうち十九の合気道部が参加した。演武者総数約百名、観客総数約二百名。植芝充央本部道場道場長代行をお招きし、柳澤健二大阪合気会代表、木村二郎大阪武育会



植芝本部道場長代行による模範演武

会長等多数の先生方が来場された。大会開催にあたり、主催者関西学生合気道連盟の矢野勝委員長は大会に参加した人々に感謝の意を伝え、「この演武大会が続いて来たのは本部道場の先生方、日々学生を見守り指導して下さる先生方の協力があった。」と挨拶があった。

演武では、各合気道部が日頃の稽古の成果を存分に発揮して、学生らしい活気ある演武を披露した。また賛助演武では北海道学生合気道連盟、東北学生合気道連盟、関東学生合気道連盟、中部学生合気道連盟、中・四国学生合気道連盟と、全ての学生連盟が参加し、学連全体で会場を盛り上げた。学生の演武が終了したあと、植芝充央先生による模範演武が行われた。基本技を中心とした先生の演武は学生達を魅了し、先生方の息遣いが聞こえるほど、会場の全員が先生の技を一つも見逃すまいと息を殺し真剣な眼差しを送っていた。学生達にとって、他の合気道部の演武を見る機会や本部道場の先生の演武を見る機会が多くない。本大会はその貴重な機会が設けられている貴重な場である。そしてなにより、自分たちの稽古してきた成果をたくさん先生方、そして同じく合気道を志す仲間に見てもらえる最高の舞台である。この舞台で演武をするたった三分間は、学生達にとって何十時間の稽古よりも学べるものがあったことだろう。関西学生合気道連盟

植芝道主の指導に見入る参加者



田辺で道主特別講習会

平成二十六年年度植芝盛平翁顕彰会主催の「植芝盛平翁の故郷を訪ねて」が十月十八、十九日の両日、和歌山県田辺市にて行われた。後援は(公財)合気会、和歌山県合気道連盟、田辺観光協会、公益社団法人龍神観光協会、中辺路町観光協会、大塔観光協会、熊野本宮観光協会、田辺市体育連盟、龍神村体育協会、中辺路地区体育協会、大塔地区体育協会、本宮体育振興協会、株式会社社報、FMTANABE、和歌山放送。まず、十月十八日午後二時から田辺市立武道館に



栗林師範の演武

演武には十三大学八十七名の参加の他、賛助演武として関東学生合気道連盟、中部学生合気道連盟、関西学生合気道連盟の参加があった。各大学、日ごろの稽古の成果を存分に発揮する演武が行われた。最後は栗林本部道場指導部師範による模範演武で大会は締めくくられた。

演武大会終了後、場所を移し懇親会が行われた。演武には、北海道各地より一四六名が千歳市総合武道館に集まり、二日間にわたり師範の一挙手一投足に目を見張る演武が行われた。演武は、基本技を中心とし、緊迫した演武が披露された。演武は、美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

演武には、北海道各地より一四六名が千歳市総合武道館に集まり、二日間にわたり師範の一挙手一投足に目を見張る演武が行われた。演武は、基本技を中心とし、緊迫した演武が披露された。演武は、美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

演武には、北海道各地より一四六名が千歳市総合武道館に集まり、二日間にわたり師範の一挙手一投足に目を見張る演武が行われた。演武は、基本技を中心とし、緊迫した演武が披露された。演武は、美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

中・四国学連

第四二回中・四国学生合気道連盟演武大会は十月四日午後一時より、広島県の広島市青少年センターで行われた。栗林孝典本部道場指導部師範をお招きし、また、大会顧問として、中村克也山口合気会会長、壬生川道寛正武会師範、深江政美広島大学体育会合気道部師範、長久逸原立広島大学合気道部師範が来場された。主催者の中・四国学生合気道連盟委員長は、演武大会に参加した人々に感謝の意を述べた上で、「今後とも中・四国学連の発展の為に学生一同一致団結して活動していきたい」と挨拶した。

美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

北海道連



指導する桜井師範

美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

美しい紅葉の中、十月十八日、十九日に本部道場指導部栗林師範をお迎えし、北海道合気道連盟の秋季講習会が開催されました。

はこれからも学生達にこのような場を与え、加盟校一丸となり関西の合気道の発展に貢献していきたい。(関西学生合気道連盟 委員長 矢野 勝)

武大会は学生の力強さと勢いを感じ、成功のうちに幕を閉じた。

入身転換

稽古して汗をかいても爽やかな季節となった。この時期は合気道の講習会、研修会や演武会などが目白押しである。本部道場の先生方も海外を含め文字通り東奔西走である。日本武道館では開館五十周年の記念式典と日本武道祭が行われた。天皇・皇后両陛下のご臨席を頂き、各武道の演武が披露された。しかし、柔道、剣道、相撲、空手道と進んだところで両陛下のご退席となった。合気道をご覧になられず残念であった。合気道では金澤師範並びに栗林師範のそれぞれ投げ技、固め技の基本技に続き植芝充央本部道場長代行の華麗な自由技が披露された。万雷の拍手が合気道の演武の素晴らしさを物語っていた。武壇の素晴らしさをこの祝賀会で、安倍総理が武道は我が国が世界に誇る伝統文化であることを祝辞の中で強調しておられた。先日、上野の東京国立博物館を訪れた。伝統文化の結晶とも言える国宝の数々が見られる日本国宝展が開催中である。今回の国宝展では「祈り、信じる力」がテーマとなっている。縄文時代の「土偶」からは人智の及ばぬ力を信仰していた様が伝わってくる。教科書でも学んだ奈良・法隆寺の「玉虫厨子(たまむしのすし)」の精緻な装飾や仏教絵画が圧倒的な存在感を示していた。良い機会なので法隆寺宝物館も訪れた。東京国立博物館の敷地内で正門から入って左手に常設されている。聖徳太子ゆかりの国宝灌頂幡(かんじょうばん)などが見られた。日本古来の職人芸とも言える技術の粋が彫刻や絵画や建築の国宝に見られる。現在の日本の科学技術の高さも伝統文化のお蔭であるのか。(可児 晋)

日・スイス修好150周年

日・スイス修好条約締結百五十周年記念行事の一環として特別記念講習会・演舞大会は、九月二十七日から九月二十九日に、スイスのサンクト・ガレンにて、

植芝充央合気道本部道場長代行を招き、スイス合気会（会長：ネフ・ハンスルエ・ディ氏）を主管に開催された。

植芝本部道場長代行による講習は、二十七日と二十八日の二日間、午前と午後約二時間ずつ、サンクト・ガレン市立中央体育館にて行われ、参加者は約四百五十名となった。国外からは、チェコ、スロバキア、イタリア、フランス、シリア、ポリア、オーストリア、サンマリノ、オランダ、ルクセンブルク、カナダからも駆け付けた。植芝本部道場長代行は、基本的な技を中心に二日間の講習を展開した。また二十七日の午後、稽古の後に、同会場にて演武大会が行われた。

演武大会で、ネフ会長が代表者として挨拶をし、その後、植芝本部道場長代行は「開祖が作られた合気道が日本から遠く離れたこのスイスの地で広がり、理解されていることを本当に誇りに思います」と祝辞を述べた。演武はスイス合気会の各道場の代表者、また賛助演武としてスイス合気道フェデレーション、合気部の少年部も演武を披露した。そして大会の最後に、植芝本部道場長代行による総演武が行われ、大会は無事に閉会した。参加者は皆、二日間の充実した稽古、また演武大会に満足していた。演武大会終了後、同市内、アインシュタインホテルにて植芝本部道場長代行を囲んでの懇親会が行われた。

さらに、二十九日には、在スイス日本国大使公邸館に訪問し、会食を行った。前田隆平在スイス日本国大使館特命全権大使夫妻、寺岡敬参事官、長吉雅裕一等書記官、植芝本部道場長代行、ネフ会長らが列席し、合気道の歴史、スイスでの合気道の軌跡について語り、和やかな会食となった。

最後に、今回の植芝本部道場長代行のスイス出張行、ネフ会長らが列席し、合気道の歴史、スイスでの合気道の軌跡について語り、和やかな会食となった。

最後、今回の植芝本部道場長代行のスイス出張行、ネフ会長らが列席し、合気道の歴史、スイスでの合気道の軌跡について語り、和やかな会食となった。

最後、今回の植芝本部道場長代行のスイス出張行、ネフ会長らが列席し、合気道の歴史、スイスでの合気道の軌跡について語り、和やかな会食となった。

最後、今回の植芝本部道場長代行のスイス出張行、ネフ会長らが列席し、合気道の歴史、スイスでの合気道の軌跡について語り、和やかな会食となった。



技をきめる植芝本部道場長代行



大澤師範の入身投げ

カナダ秋季講習会

カナダ合気道連盟の秋季講習会は九月二十六日から三日間、大澤勇人本部道場指導部師範をお迎えし、トロントの日系文化会館で行われました。講習会にはカナダの全域と米国から約二〇〇名が集まりました。

二〇一一年に行われた、秋のトロント講習会以来、定期的に大澤先生をカナダ合気道連盟の講習会にお招きしています。先生と顔見知りになった会員は、先生の「一挙手一投足をも逃さないように集中している光景が多く見られました。また、

今回初めて参加した白帯の方々も、先生から直接に手を取って教える頂き、今後の励みになると話していました。講習会の最後の時間に、日系文化会館の合気道教室に通う子供たち十五名が参加しました。先生は今までになくニコニコと技を見せておられました。

講習会があったと言う間に終わってしまった感じが、来夏の夏合宿は、トロントで行われます。今から皆が楽しみにしております。(中村ゆみ)

タイ国合気道協会は九月十九日から二十一日まで深草基弘師範の在タイ国五〇周年記念セミナー大会「One Art, Three Seasons, 50 Years」を開催した。本大会にはタイ国内から二〇〇名、国外からは近隣は言うに及ばず、中東、欧州、日本なども含めて一八ヶ国から一五〇人が参加した。

タイ国への合気道普及は、一九六四年に深草基弘先生が大学を卒業するや、単身赴いて始まった。この年、日本は国中が東京五輪の開催に湧き上がるが、フランス、アメリカ、そしてタイに、後に師範となる故田村信喜、山田嘉光、深草基弘の若き三氏が飛び立られた。本セミナーは、これら三師範の心血を注いだ海外活動五〇周年を記念したものである。

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一

深草師範は、タイ国体育アカデミー、陸軍幼年学校および士官学校、国家警察機動隊などへ指導をしつつ、一般社会人・学生らの間に普及をはかっていた。その道は決して平たんなものではなく、数多くの苦難を乗り越えて今日に至ったものであると想像する。一



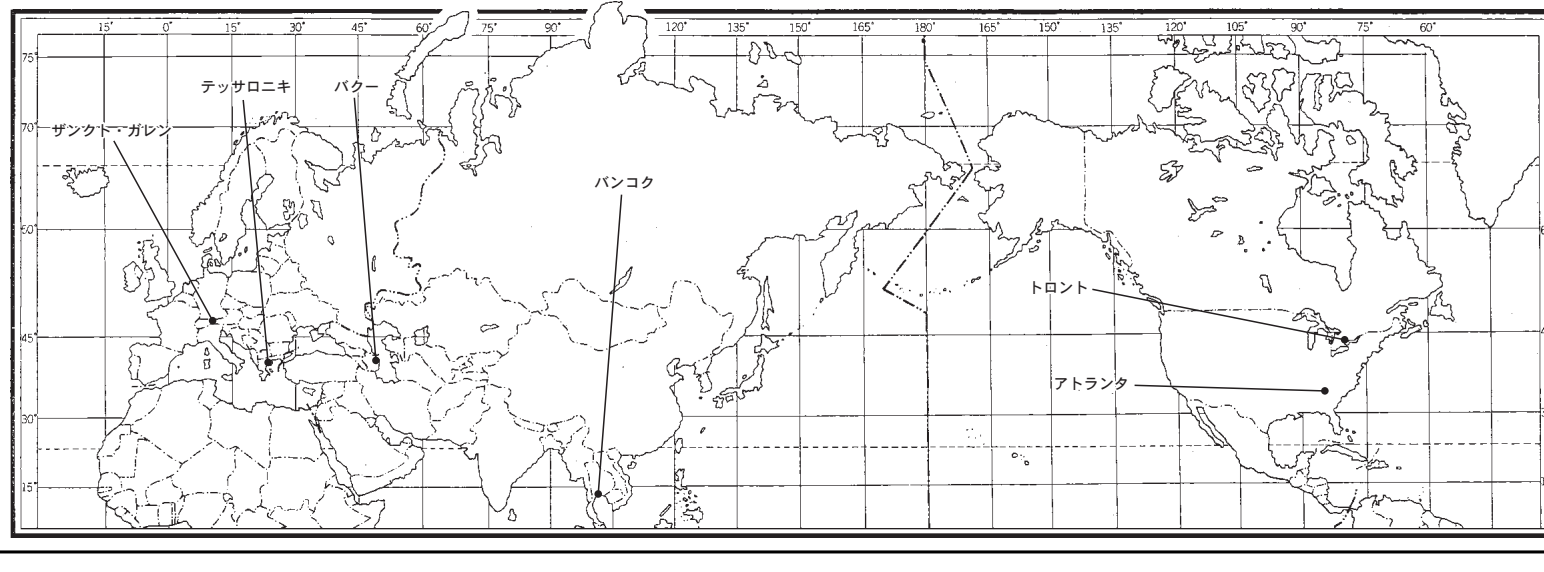
左 二人目からネフ・スイス合気会会長、前田特命全権大使、植芝本部道場長代行、大使夫人



アゼルバイジャンで講習会
私(栗林)は十月九日から十四日まで、アゼルバイジャン合気会合気道連合主催の講習会指導のため、例年通りアゼルバイジャン共和国の首都バクー市を訪問した。世界最大の湖カスピ海に面したバクーは、油田や天然ガス採掘で賑わう豊かな街であり、各国の石油関係の会社が多く進出して、いずれの建物もとてもモダンで華やかな印象がある。講習会は、十月十日夜か

アゼルバイジャンで講習会
私(栗林)は十月九日から十四日まで、アゼルバイジャン合気会合気道連合主催の講習会指導のため、例年通りアゼルバイジャン共和国の首都バクー市を訪問した。世界最大の湖カスピ海に面したバクーは、油田や天然ガス採掘で賑わう豊かな街であり、各国の石油関係の会社が多く進出して、いずれの建物もとてもモダンで華やかな印象がある。講習会は、十月十日夜か

アゼルバイジャンで講習会
私(栗林)は十月九日から十四日まで、アゼルバイジャン合気会合気道連合主催の講習会指導のため、例年通りアゼルバイジャン共和国の首都バクー市を訪問した。世界最大の湖カスピ海に面したバクーは、油田や天然ガス採掘で賑わう豊かな街であり、各国の石油関係の会社が多く進出して、いずれの建物もとてもモダンで華やかな印象がある。講習会は、十月十日夜か



参加者もあり、例年以上に活気ある稽古となった。更に、今年から新たな道場もオープンし、アゼルバイジャンにおける合気道の本拠地となっている。この施設は元来アゼルバイジャンで盛んな柔道のための施設であるが、合気道にも開放され、この施設が出来た事によって、毎日稽古が出来るようになったとの事である。今回のセミナーもこの施設を使って行われたが、バクーの中心で官庁街に近く、地下鉄の駅も徒歩数分であり、五階建ての建物に四つの道場を持ち、宿泊施設まで備えた、素晴らしい環境であった。

稽古は例年同様、基本を中心に、各技法は勿論の事、初心者指導に関しても注意を払いながら行なった。土曜日に行われた審査では、新たに二名の初段とそれぞれ一名ずつの二段と四段が誕生した。

今後は会員の増加と共に、指導法の確立や、若手指導者の育成が課題となっているが、アゼルバイジャンの合気道家達は大変前向きであり、今後のさらなる発展が期待される。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

各道場の昇段者

9月15日～
10月14日
(公財)合気会登録

【四段】

◆正心会=秋山孝◆高知合気道グループ=沖田聡◆瀧田塾=植田真一◆一宮合気会=山田吉信◆京都合気会=山田由美◆宮崎合気道会=鬼塚直行◆合気道神戸=鳴嶋保雄◆杉並合気会=J.Cavazos◆多田塾=石田大樹◆大阪武育会=津村徳道◆法務省合気道部=越川昇◆北総合合気会=R.Schiks◆神武塾=津野利雄◆合気道翔道会=田村徹◆寒川合気会=桑田達雄◆清心館道場=附田舞、石原勇二◆合気道楽々健身倶楽部=郷本隆之、松尾旨之◆明治大学教職員合気道クラブ=横山大輔◆AUSTRIA=B.Wintersteller◆U.S.A.=D.Burch、T.Vazquez、S.Riotto、M.Murray、S.Tomlin、G.Clementi、G.Johnson◆FRANCE=T.Thaler、E.Aupetit、A.Feneyrols、A.Sorrenti、J.Mallet◆FINLAND=A.Kauttu◆ARGENTINA=M.Quinonez◆中国=邢悦◆POLAND=A.Radecki、A.Walczuch◆U.K.=晋雅代、Z.Fairbanks◆TURKEY=C.Yuksel◆GERMANY=N.Wallner◆ITALY=R.Scigliano、R.Tavolazzi◆SOUTH AFRICA=C.Beyers

【参段】

◆本部道場=新澤亜希◆茅ヶ崎合気会=武部真人◆蹴守道場=頂真弓、富樫由美◆高伝館=小川誠二◆宮崎合気道会=日高正史、谷口吉充、前田義明◆合気道千葉千種道場=S.Goharzay、E.Hajsamadi、M.Goharzay◆合気道石芯塾=三室洋、土屋朱里、石原匡師、小島健昭、長谷川佳代子◆祥平塾=川島広、クボ・ジェレミ◆杉並合気会=T.Kikos◆正心会=延本和浩◆多田塾=長元由紀夫、大塚隆生、葛西重治◆大阪合気会=早川豊佳寿、河原豊和、濱田竜也◆大阪武育会=北尾真司、筑波秀男◆兵庫合気会=山田耕造◆如水合気道研鑽会=千束昭博◆合気道志正館=須原香子◆明治大学教職員合気道クラブ=横山明子、鈴木一平◆CZECH=H.Benes、H.Kvasnakova◆U.S.A.=V.Fanning、W.Fanning、R.Friedman、G.Carroll、B.Tawney、T.Hickey、C.Schrader、E.Atkinson、M.Imbuido、J.Crist、J.Puskarich、A.Maniwa、W.Shindell、M.Graber、J.Sofen◆LEBANON=C.Kesrouani◆AUSTRIA=H.Smetanig◆POLAND=G.Duda、K.Machnik◆SWEDEN=彭偉康、J.Larsson、M.Mathiasen◆BULGARIA=A.Isakova◆FRANCE=S.Durchon、J.Carrascal、A.Feneyrols、W.Joseph、A.Giaveropoulou、J.Mallet◆FINLAND=M.Lindevall◆COSTA RICA=C.Villalobos◆ARGENTINA=J.Suarez、A.Juarez、A.Heredia、F.Dib、M.Vecchiotti、S.Sosa、G.Sirianni、L.Antonowicz◆U.K.=R.Lace、P.Helmbold、H.Robertson◆GERMANY=J.Fiedler、W.Ruff、K.Russ、P.Schuberth◆NETHERLANDS=J.Stoute◆ITALY=A.Casali、C.Ferrara、A.Rass、A.Sareri

【武段】

◆本部道場=稲森岳央◆茨城支部道場=稲垣宏明◆高知合気道グループ=長谷川義博◆瀧田塾=鈴木栄治◆人吉合気会=上野貴幸◆秦野武産合気会=栗原大樹◆愛結会=杉本同幹、橋本真希◆吉照塾=立花淳◆京都合気会=新優美、吉村批敏、酒井健志、山本仁士、山本博◆皇道館=B.Biggers、D.Self、C.Sriranganathan◆宮崎合気道会=小城光章◆合気道千葉千種道場=M.Abangar、M.Labbafi、M.Dehgahi、S.Bassam、M.Irannejad◆尚武館=三上誠一◆合気道石芯塾=内田喜裕、喜多晋、田中拓真◆祥平塾=森浩晃、塘地正、藤本淳一、土井脇由真、松田英二、小田文生、亀井遼、永島弥生、松尾夏実◆合気道神戸=毛利哲夫、松井諭、濱田剛志◆神武館=内田浩二、木村恵理子、長谷川善紀、辻井千里◆進藤道場=山崎並路◆杉並合気会=S.Yoshimura、Z.Haimo◆正心会=五味浩司◆青葉塾道場=鈴木洋一郎◆多田塾=篠原拓嗣◆大阪合気会=七條達弘、森田良明◆大阪武育会=宮本慎也、吉田健一、羽室研二◆辻堂道場=小寺美穂、新井良典◆阿久比合気道=石川天童◆等々力道場=M.Link◆武栄会=政良江◆平塚合気会=鈴木敬子◆法務省合気道部=田野尻猛◆中央会藤巻道場=春田真希、谷口清香◆日黒道場=橋本宗久◆神武塾=中谷幸夫、高垣博一、浦誠知、D.Hilston◆兵庫合気会=清水晶、八木優尚◆三菱養和会武道スクール合気道塾=三原宏治◆相模合気会=篠崎通治◆守清館=溝口紗夕◆如水合気道研鑽会=白石久美子◆合気道楽々健身倶楽部=中山貴宏、近藤健介◆宮城合気道真眼会=菅野幹太◆一橋大学=山口奈月◆宮崎大学合気道部=高岡良多◆早稲田大学=横山大樹、伊藤竜太郎、春原卓也、阿部葵、高井まゆ、野上香織、森佳乃◆大阪府立大学女子合気道部=河田夏初◆桃山学院大学=中山翔二、吉田典幸◆日本大学生産工学部=荒井悠考、橋川兼都、浅野洋平、清水翔太◆日本大学合気道部=久保悦美、久保木滉太、曾我大地◆名古屋大学=金井健司、松原大貴◆皇學館大学=永松侑樹、河合慧、森山優紀、澤辺歩、葛山さつき◆明治大学生田=小寺幸幸、青木雅矢、駒井亮子、門谷航、寺崎愛莉◆SWITZERLAND=C.Ciorciaro◆CZECH=H.Gesche◆U.S.A.=D.O'Day、L.Harris、P.Harris Jr.、R.Shakur、B.Troianello、V.Rioux、S.Rapaport、K.Garvey、T.Vu、K.Tankhiwale、S.Knopp、D.Hirtle、M.Bartolomei、C.Matteoli、S.Ellis、C.Guzik、D.Preston、M.Stephen、P.Wheeler、P.Ott、J.Ho、E.Georges、N.Tsao、R.Newcater、L.Sheretz、K.Fisher、T.Mason、E.Wrench◆LEBANON=S.Jadaoun、A.Bourjeily、R.Ayoubi、H.Ayoubi◆AUSTRIA=U.Kutschera、S.Simek◆POLAND=M.Waga、P.

Antczak、S.Mendyka、M.Pietrasik、C.Krawczynski◆SWEDEN=M.Valle、P.Johansson、A.Kajfes、E.Pihlstrom、P.Benthin、R.Johansson◆FRANCE=I.Richter、L.Kovari、S.Doring、H.Petitjean、I.Grynchuk、A.Feneyrols、W.Joseph、I.Tsopokis、K.Taziopoulos、J.Mallet、N.Rio、L.Joguet、D.Lecomte、R.Pedro、F.Lecomte、T.Marinho、B.Pedro◆ARGENTINA=S.Moreno、P.Almeida、M.Cardenas、A.Demartini◆AUSTRALIA=D.Barker、D.Barker、T.Yeung、S.Yuen◆U.K.=A.Pavlakis、T.Kirkland、D.Kovacs、S.Taskin、U.Degirmenli、U.Kosemen◆NETHERLANDS=Y.Hoogervorst、M.Zoete◆ITALY=P.Occhini、A.Bassato、G.Conti、G.Scicolone、C.Castiglia◆GERMANY=S.Tomeischel、C.Peters、K.Teubner、M.Kern、S.Nodewald◆中国=林津◆RUSSIA=A.Morochko◆SOUTH AFRICA=C.Singmin

【初段】

◆本部道場=館圭輔、H.Arnold◆茨城支部道場=柴田光信◆两国魂友会=板垣美加子◆瀧田塾=本吉康昭◆正心会=増田大樹◆月窓寺道場=徳田均◆健身館=上木場秀樹、田原美砂、木村明子◆愛結会=森愛都咲◆茅ヶ崎合気会=滑川雅之◆吉照塾=辻正◆谷神会=濱田節子、長野暹、数野太一、荒木幸子、東久光◆京都合気会=立川明衣◆東京合気道秀和会=齋藤剛◆蹴守道場=片岡彩子◆皇道館=鳥越洋平、小早川恵摩、三浦直也、田中直日、J.Spivey◆合気練成会=平林佑規、大野幸浩、坪井星一、野間口崇◆山口合気会=古川昭夫、上田貴大◆長崎合気道会=吉迫可奈◆小松支部博心館=三宅勝也◆小田原合気会=矢口颯◆宮崎合気道会=今廣淳二◆合気道千葉千種道場=R.Agazadeh、M.Gharaei、M.Mohammadbayani、A.Gooranheidari、S.Habibi、M.Alamifar、F.Kheirabady◆合気道石芯塾=鈴木淳子、岡田優、井出修◆祥平塾=権藤大貴、上野典子、矢野秀郎、豊本忠孝、池田長正、井上憲吾、細越真由美、西村美樹、白石雅美、佐多勇、西村絵梨花、グローバー・グレゴリー◆合気道神戸=平山裕子◆杉並合気会=J.Butler、S.Roberts◆青葉塾道場=佐藤哲郎◆新宿スポーツセンター=富山隆之◆多田塾=高松佐和子、小林民夫、永松小夜子、行友光、藪内由紀子、大平佳規、光嶋裕介、南原洋子、鯉田勝紀、三浦未暖◆大阪合気会=山尾由紀、小松千里、川中智司◆大阪合気塾=山崎理恵、竹間豊◆京都近江合気会=秋山一哉◆武栄会=松本茂嗣、紙野瑞希◆北総合合気会=R.Caceres◆合気道翔道会=角厚史◆兵庫合気会=坪井史雄◆武蔵小山道場=石川博康◆守清館=坂口好則◆城下町合気道=石川薫◆合気道元徳会=日高智之◆大阪府立日根野高等学校=田代茉央、仲吉朝、西川真由、青野真夕◆明德義塾高等学校合気道部=安坤◆宮崎大学合気道部=小野雅俊、大森伊織◆慶應義塾大学湘南藤沢合気会=柳生健二郎◆神戸女学院大学=丸山芙美香◆川崎医療福祉大学=込山真名美◆早稲田大学=鈴木菜月、イリアド・ルピス◆

中京大学=松浦天磨◆東京大学=坂部能生◆東京農工大学=飯塚宏明、寺田賢吾◆東京理科大学久喜=藤部公寛、谷口淳哉、山崎誠可、窪田英朗◆日本体育大学=佐藤峻彦◆福岡大学=飯塚祐作◆防衛医科大学校=長井健一郎、高橋昌寛、福岡湧介、佐藤優◆福井大学=宮崎智広、望月洋子、木村和樹、松井大知、吉田彩乃◆富山大学=林正大、藤原理恵、北岡さゆり、熊谷俊哉、丸山和敏、島田佳央理◆鹿児島大学医学部歯学部合気道道場=川原裕史、上原景太郎◆東北薬科大学=澤藤裕貴◆U.S.A.=高橋義之、J.Mcnaught、C.Recknagel、R.Turi、P.Daly、E.O'Connor、D.Pashos、K.Schlemm、C.Willean、C.Byrnes、D.Patterson、Y.Lee、K.Tanis、R.Czarniawski、J.Sullivan、K.Freiberger、J.Rodriguez、S.Persaud、P.Berger、J.Lofton、J.Graziano、P.Josephs、P.Rockwood、J.Goldberg、T.Carta、M.Carta、A.Eisenberg、M.Hallock、C.Kozoll、J.Smith、R.Betancourt、C.Grande、J.Hrynyuk、M.Kallich、B.Kaser、R.Murphy、E.Oberlin、K.Osbn、M.Tsakiris、B.Williams、H.Clawson、R.Esqueria、S.Evans、P.Ivanov、T.Koyama、E.Mullins、N.Mullins、S.Murphy、J.Nelson、C.Pearlman、J.Reed、W.Renee、J.Wands、E.Willey◆AUSTRIA=P.Krimbacher◆FRANCE=J.Casta、L.Munier、E.Aupetit、A.Feneyrols、W.Joseph、A.Blot、J.Asse-lineau、J.Mallet、N.Rio、L.Joguet、E.Voznyuk、L.Jacob、N.Kastanas、O.Simou、T.Panagioratis、D.Xagoraris、S.Veskos、M.Farfarelos、T.Marinho、B.Pedro、K.Biro、D.Micsinai、T.Doras、S.Colson、L.Pereira、F.Borges、J.Rodrigues、J.Pereira、L.Duarte、R.Cabrira◆FINLAND=K.Korhonen、N.Lagus、J.Linden、J.Lahde◆ARGENTINA=C.Vazquez、A.Rubio、D.Mora、D.Labrousse、H.Diaz、J.Coral、J.Minich、J.Baeza、M.Ballesteros、C.Arganaras、L.Pintos、P.Biscayart、D.Shiroma、E.Gonzalez、P.Verdicchio、E.Bernard、L.Gonzalez、R.Carril、C.Flores、J.Szlagowski、F.Albanese◆SWEDEN=A.Adlercreutz◆中国=司徒永華、李大衛、D.Vovil◆AUSTRALIA=高島英明、N.Spilsbury、L.Simons◆U.K.=J.Daurat、P.Haynes、S.Meddings、D.Milford◆TURKEY=E.Sahillioglu、A.Unal、T.Yuksekten、T.Kavak、M.Polat、S.Kefoglu、C.Arslantas、N.Bahadirli、T.Balci、T.Erdogan◆POLAND=T.Chmiel、S.Mizgala、P.Gaczynski、G.Pawlak、M.Mlynaryk、Z.Kozera、S.Gorski、K.Tomczyk、M.Wawrzyniak、E.Hlebowicz◆NETHERLANDS=G.Tjaberings、A.Vark、R.Schwagermann、M.Brummelen、D.Bunt、H.Vedder、H.Tessers◆LEBANON=M.Mansour、J.Antar、G.Malkoun、T.Ohanian◆GERMANY=G.Wiltfang、T.Dietze、M.Schmidt、J.Baumann、D.Koslitz、I.Burant、B.Kontek、S.Popovic、A.Bade、M.Borgiel◆ITALY=C.Castiglia、G.Corsaro、B.Rubini、M.Pupo、M.Cesati◆CZECH=Z.Cech、K.Grunwald、M.Balicz、E.Svienty、J.Jozif、J.Malek、M.Horak◆SOUTHAFRICA=K.Nel、F.Rautenbach、O.Chabane



小林師範による指導

私(小林)は九月(四日)から三(日)まで、ギリシャ秋季講習会に派遣された。前半の二(五)、二(六)日はテサロニキ市(M.コスタス)の五段のエーゲ海を臨む丘にある、アリステレス大校内の道場で講習を行った。両日共三時間の講習。会員は約八〇名が参加した。初心者から有段者まで混合で行われたが、皆真剣に稽古に取り組んでおり、とても好感が持てた。翌二(七)日にはアテネに移動。ギリシャ合気会(E・テプリン)五段、J・クリフト六段、腹心館道場(K・パピス)五段を中心に、アテネオリンピックセンター内の道場で講習を行った。二日間とも三時間の講習で、会員は約百二〇名が参加した。こちらは有段者が多く、稽古が練れている印象を受けた。

今回の講習会には地元元ギリシヤに加え、イギリス、ルーマニア、ブルガリア、ドイツ、日本等からの参加者も多く、とても良い交流が出来たと思う。私は八年ぶりの訪問であったが、組織も若返り、皆で同国の合気道を盛り上げて行くと言う姿勢が、とても強く感じられた。互いに切磋琢磨し、発展して行くことを願いながら全日程を終了した。(本部道場指導部師範 小林幸光)

ギリシヤ秋季講習会
私(小林)は九月(四日)から三(日)まで、ギリシヤ秋季講習会に派遣された。前半の二(五)、二(六)日はテサロニキ市(M.コスタス)の五段のエーゲ海を臨む丘にある、アリステレス大校内の道場で講習を行った。両日共三時間の講習。会員は約八〇名が参加した。初心者から有段者まで混合で行われたが、皆真剣に稽古に取り組んでおり、とても好感が持てた。翌二(七)日にはアテネに移動。ギリシャ合気会(E・テプリン)五段、J・クリフト六段、腹心館道場(K・パピス)五段を中心に、アテネオリンピックセンター内の道場で講習を行った。二日間とも三時間の講習で、会員は約百二〇名が参加した。こちらは有段者が多く、稽古が練れている印象を受けた。

▽小谷佑一指導部指導員は、十一月二十日から二十四日までロシアの講習会に派遣される。
▽佐々木貞樹指導部師範は、十一月十日から十七日までウズベキスタンの講習会に派遣される。

▽植芝守央道主は、イタリヤ政府公認・公益財団法人日本伝統文化の会「イタリヤ合気会」の創立五十周年記念国際講習会・演武会のため、十月三十日から十一月五日までイタリヤを訪問された。随行は鈴木俊雄・小山西二両指導部指導員。
▽入江嘉信指導部師範は、十一月十二日から十八日までロシアの講習会に派遣される。

アトランタ講習会
私(桂田)は、アンドリュ・佐藤氏の主催するAWA(合気道ワールド)ライアンスの秋季講習会指導のため、十月八日から十四日まで、アメリカのアトランタを訪問した。AWAの傘下五十二団体のうち二十二団体(一三二名)が参加した。十三(日)午後二時、午後三時、午後四時、午後五時の四回、基本技から応用技まで力の繋がりが、間合いなどを大事にしなが稽古をして頂いた。二年ぶりでお互いどのぐらい変わっているかなと楽しみにしていたが、期待するものが得られた様に思う。提案に対して皆さんの反応も良かったので、とても良い講習会となった。次に会う時まで更に成長することを誓った。(本部道場指導部師範 桂田英路)

アトランタ講習会
私(桂田)は、アンドリュ・佐藤氏の主催するAWA(合気道ワールド)ライアンスの秋季講習会指導のため、十月八日から十四日まで、アメリカのアトランタを訪問した。AWAの傘下五十二団体のうち二十二団体(一三二名)が参加した。十三(日)午後二時、午後三時、午後四時、午後五時の四回、基本技から応用技まで力の繋がりが、間合いなどを大事にしなが稽古をして頂いた。二年ぶりでお互いどのぐらい変わっているかなと楽しみにしていたが、期待するものが得られた様に思う。提案に対して皆さんの反応も良かったので、とても良い講習会となった。次に会う時まで更に成長することを誓った。(本部道場指導部師範 桂田英路)